

12月定例会の概要

12月3日～12月19日までの17日間

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 決算特別委員会 12/ 3
- 東南海・南海地震等対策特別委員会 12/13

一般質問議員 15人

12月10日(火)	12月11日(水)	12月12日(木)	12月13日(金)
服部 一	大沢 広太郎	長坂 隆司	谷口 和樹
坂本 登	奥村 規子	雑賀 光夫	鈴木 太雄
多田 純一	片桐 章浩	立谷 誠一	山下 直也
高田 由一	中村 裕一	平木 哲朗	

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成25年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(議員提出)	1件	和歌山県中小企業振興条例	
条例案件(知事提出)	17件	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 等	認定
決算案件(//)	2件	平成24年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	可決
その他案件(//)	9件	平成25年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	
意見書	10件	リニア中央新幹線東京一大阪間全線同時開業に関する意見書	可決
		農地転用許可の緩和を求める意見書	
		介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書	
		企業減税等から確実な賃金引上げを求める意見書	
		過労死防止基本法の制定を求める意見書	
		水痘等4ワクチンの定期予防接種化に関する意見書	
		燃料価格高騰に対する補助制度の創設を求める意見書	
		ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成制度の拡充を求める意見書	
		過疎対策の積極的推進を求める意見書	
		「高校無償化」への所得制限導入に反対し、「教育費無償化」の前進を求める意見書	否決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

交通

関空・紀淡・四国高速 交通インフラ整備構想

問 平成25年11月に東京で関空・紀淡・四国高速交通インフラの整備についてのシンポジウムが開催されたが、この構想の推進についてどう考えるのか。

答 紀淡海峡ルートをはじめとする高速交通インフラの整備が、西日本地域の発展に必要であり、ひいては第二国土軸の実現による日本全体の国土強靱化の観点からもぜひ必要です。本プロジェクトは、形ができていないものもあり、困難が予想されますが、和歌山のため、関西のため、日本のため、推進していきたいと考えています。

和歌山電鐵貴志川線への評価

問 様々な経営努力により純損失額は減少しているが、依然、赤字経営が続いている。10年間の補助期限が近づいているが、これまでの総合的な評価はどうか。

答 地域の鉄道だけにとどまらず、観光振興や地域活性化のためにも貴志川線の存続は大事であります。今年度の上半期は過去最高の利用人数となるなど、理解も大分進んではいますが、引き続き、沿線住民の皆さんによる「乗って残す」という行動が必要だと考えますので、さらなる利用促進を期待しています。

文化

紀州学の設立

問 最近、県内各地で貴重な郷の資源を磨く人がふえているが、みんながよって立つ地域学として「紀州学」の設立が必要ではないか。

答 本県には、全国的にも県民にも知られていない貴重な歴史、自然、人物などの資源がたくさんあります。それらについて「紀州学」として共通認識を持ち、その資源を活用することが大切であるとの提言ですが、貴重な資源を発掘し、磨き上げ、県民と共有しながら県外にも発信する機会を充実していきます。

梅の世界農業遺産登録

問 南部郷の梅を「紀州・梅の香りと長寿の郷」として世界農業遺産への登録を提案するが、知事の決意はどうか。

答 みなべ・田辺地域を中心とする梅生産は、広大な梅林と周辺環境が織りなす四季折々の景観が素晴らしいこと、加工と一体となり地域の基幹産業であること、梅に関係した伝統ある祭事が数多くあることなど、登録要件を満たせるのではないかと思えます。県としては、地元の皆様と一緒に登録実現に向けて取り組んでいきます。

道路

国体に向けた道路整備

問 国体に向けて公共インフラの整備に全力を挙げているところであるが、宿泊客が集中する和歌山市や田辺・白浜での道路整備にどう取り組むのか。

答 和歌山市内では、都市計画道路の県担当部分について全力を挙げて国体までの整備に努めており、市の担当部分についてもおこなえないよう働きかけています。田辺・白浜地方では、現在、国道42号田鶴交差点の改良工事中で、白浜空港フラワールイン線についても国体までに最低限のところは整備するように取り組んでいます。

国道311号の事故多発地点対策

問 中辺路町栗栖川川内、上富田町下鮎川川内では、長年の経過と問題点、見直しはどうか。

答 栗栖川川内では、原之瀬橋付近で歩道整備とあわせた道路拡幅を実施しています。JRバス栗栖川駅付近では、地元の意見も聞きながら歩道整備とあわせた道路拡幅を検討していきます。上富田町下鮎川川内の加茂橋付近では、減速標示等を行うことにより死者事故は半減していますが、急カーブで見通しが悪い現状を踏まえ、町や関係機関の意見も聞きながら、線形改良を含めたさらなる交通安全対策の必要性を検討していきます。

サイクリングロードの整備

問 「みなとオアシス」認定に向けて動いている大阪府岬町へ向けたサイクリングロードの利用環境の整備についてどう考えるのか。

答 県の自転車利用推進策として、川、山、海のサイクリングロードの利用環境整備に取り組んでいます。「みなとオアシス」によるみなとまちづくりとの連携については、今後、海のルートとして調整を図れる部分があれば和歌山市や岬町とも連携していきます。

みなとオアシス...
人々のにぎわいや交流を創出する港の施設のうち、港を核とした地域活性化を促進するため、国土交通省が認定・登録を行った施設。

解説

